

# 令和元年度 第1回 赤磐市行財政改革審議会 議事概要

日時：令和元年9月25日（水）午後1時30分開会 午後3時閉会

場所：赤磐市役所 2階 大会議室

傍聴人：0人

## 1 開会

## 2 会長挨拶

## 3 市長挨拶

## 4 協議内容

### （1）市の財政状況について（報告）

事務局：資料1・2を用いて、市の財政状況について、行革に取り組み、歳出の抑制に努めているものの、地方交付税の縮減が大きく影響しており、平成30年度決算では財政調整基金残高は約62億円で前年度より約12億円減ったが、経常収支比率は92.0%で前年度より0.2ポイント下がっている。主な要因や内容等を説明し、このような対応できたことはアクションプランのおかげであるが、引き続き全職員で危機感をもって事務事業の見直しを図るよう取り組んでいくことを説明。

委員：・地方交付税の減額は予想できていたのか？

→年々減っていくことは分かっていた。来年も減ると見込んでいる。

・財政調整基金は、減るだけか？

→積み増しをするには、経費を削減するか、歳入を増やさなければならない。

・歳入を増やす計画として企業誘致の状況は？

→企業進出の受け皿3箇所まで企業が決まり、法人税や固定資産税などが期待できる。現在は、次の受け皿を検討しているところ。魅力ある企業を誘致し、着実に推進していく方針。

会長：人口を増やすには職場を作ることが一番。企業誘致は、まちを活性化する非常に有力な施策。

歳入の明るいビジョンに対して、我々は行革をしっかりとやる。相まっていくべき。

財政状況は決して明るい状況ではないということを我々も認識した上で進めていきたい。

### （2）第3次行財政改革大綱の実施計画進捗状況について（報告）

事務局：資料により、特に47番「学校給食センターの一部民間委託」について、昨年度いただいた「民間活力の導入推進」に係る提言に沿う形で進んでいることを説明。

委員：・職員採用方式の見直しは、具体的にはどのようにしているのか？ 職員の能力アップが必要。

産業振興で思い切ったことをやるのであれば、任期付で公募し成功報酬型にするなど、思い切った職員採用方法も必要ではないか。

・民間では、採用テストで、ペーパーテストの上位からのみ採用すると皆同じパターンの考え方になって組織が面白くないので、半分は下位から採用した例がある。同じ者が同じ所にい

ると同じ事しかできないが、色々な才能と知恵と経験を持った異質な人間を混ぜると変化が起こる。民間の例を参考に、どういう採用テストをするのか工夫が必要。

- ・一般的には、公務員は、国や県の意向を実行できるような能力に長けた人を採用するイメージだが、今は、国も県も助けてくれないのだから、民間的な能力を持った人を採用した方が自力で生きていける組織になるのではないか。
- ・法律によって物事を判断するタイプが向いている部署もあるだろうが、部署によって求める条件が違い、地域開発や産業担当の採用には工夫が必要ではないか。企業誘致の専門家で経験を積んだ人など、即戦力となる外部人材の雇用も考えてみてはどうか。
- ・職員に対しての教育や評価方法によって、最初は勢いのある職員も2、3年で変わってしまう。「自分は目立たなくても正しく評価されている」と感じていれば、スキルを上げたりやる気を起こさせたりするものなので、その点のフォローに配慮を。
- ・学ぶ機会を多く与えてもらえると、「できる」「やろう」という気持ちが沸いてくるもの。
- ・民間との人事交流は、例えば地元で頑張っている企業との交流が、触発されてよいのでは。
- ・Iターン、Uターンを含めて、広い地域から、知識のある人の中途採用が必要ではないか。
- ・企業誘致など、特に戦略的なテーマについては、ステレオタイプの人事や採用方法ではなくて、新しい角度で考え、新しい発想の人材を育てることも大切。

→赤磐市でも、社会人経験者の採用や、AMD Aなどの民間との交流、中央省庁への派遣などを行っていることを説明。研修の状況も説明。

会 長：人づくりは人材養成教育の問題。ひとりが3人分くらい働く能力を持つようにスキルアップしていかないといけない。先輩が背中で見せる、指導する、毎日の中での教育を充実させてほしい。

委 員：施設使用料設定基準は、審議会で話し合っただけだったので、来年度の運用をお願いしたい。

委 員：給食センターは、一部ではなく全部を民間委託した方が効率的ではないか。

岡山市では、民間の一番知恵が働く食材購入も民間活用したので、検討を。

→令和2年度9月から、まず1つのセンターで民間活力を導入した運営を行い、保護者の皆様の心配事である安全性、食の質などの不安解消を積み重ねながら検証し、あとの2つのセンターを検討する。食材は、地産池消も併せて検討する。

## 5 その他

事務局： 次回の日程は、2月頃を予定。

## 6 閉会 会長挨拶